

福祉文化通信

～well-beingへの道～

2012.1.25
vol. 67

●発行者／広報委員会
稲田泰紀 安倍大輔 河西正博
関矢秀幸 馬場 清
●レイアウト・印刷／飛来社

日本福祉文化学会事務局 〒165-0026 東京都中野区新井 2-12-10 芸術教育研究所内 Tel/Fax: 03-5942-8510 E-mail: fukushibunkabito@nifty.com

日本福祉文化学会 出版物のご案内（最新刊）



新・福祉文化シリーズ全5巻
著者：日本福祉文化学会編集委員会
発行：明石書店

第1巻 「福祉文化とは何か」

発行年 2010年3月1日

2,200円＋税

「創造的福祉文化社会」実現に向けた「福祉文化」の意義と役割を提示。

第2巻

「アクティビティ実践とQOLの向上」

発行年 2010年3月1日

2,200円＋税

生活の質の向上を図るための福祉文化活動を行う組織、計画、評価を探る。

第3巻

「新しい地域づくりと福祉文化」

発行年 2010年11月2日

2,200円＋税

福祉文化が地域づくりに果たす役割を、理論および実践活動から考える。

第4巻

「災害と福祉文化」

発行年 2010年11月6日

2,200円＋税

災害発生から復旧・復興の過程で福祉文化活動の取り組みを紹介する。

第5巻

「福祉文化の源流と前進」

発行年 2011年9月15日

2,200円＋税

福祉文化学はどのように深化してきたか、歴史的経過をたどりながら明らかにする。

地域や職場、学校、ゼミの学習にお役立てください。現在、今後の出版活動を検討中です。

書籍ご希望の方は、事務局まで。

1割引での販売を予定しています。

書籍名・部数・送り先・連絡先などメールまたは、FAXで。

福祉文化実践報告集(第6号) 原稿募集中です。

■締め切り：2012年2月末日

■内容

①報告および小論

地域や職場、教育等の現場における実践など、日常生活や仕事のなかでの福祉文化の向上に取り組む内容

(スポーツ・レクリエーション、暮らし、芸術、宗教、教育、メディア、企業、科学技術、建築、社会科学、エンターテイン)

②記録・福祉文化の実践に関わる記録、作品の紹介

③紹介・福祉文化の実践紹介、会員が取り組む実践の紹介等。

■応募資格：日本福祉文化学会の会員、あるいは入会される方。

お尋ねします。

2011年12月1日現在、住所未登録、または宛先不明の会員の方の所属ブロックとお名前を下記の通りお知らせいたします。ご自宅、または、ご勤務先にお心当たりのある方は、事務局までFAXかメールにてご一報いただきますようお願い申し上げます。

(北海道)舟渡早苗、(東北)荒京子、菅原真枝 (関東)武千晴、寺久保光良、北山裕子、佃亜樹、川崎愛、滝沢千代里、富田川智志、劉光鍾、佐藤博紀、妻倉泰子、(中部東海)朝倉美江、井上桜 (関西)後藤敦子、(九州)工藤節美、橋本芳、松坂淳子 (敬称略)

新規会員紹介

2011年9月18日以降、新規入会された方の所属ブロックとお名前をお知らせいたします。(関東)香川スミ子、園川緑 (北陸)今井康子 (敬称略)

編集後記

新役員体制が承認され、初めての通信をお届けしました。今回の体制では新たに震災支援委員会も立ち上がり、災害支援分野も含めた福祉文化の創造と発展に寄与していきたいと考えております。

学会の発展には、会員皆さまからのご協力が欠かせません。学会に関してのご意見・ご提言などは事務局までお願いいたします。通信についても、ご意見・ご感想をお待ちしております。

(広報担当)

日本福祉文化学会ホームページご活用ください。

最新情報や、イベントの紹介、全国大会・各ブロックの活動、出版物の紹介などが掲載されています。ご活用ください。

ホームページアドレス <http://www.fukushibunka.net/>

会長挨拶



日本福祉文化学会の 新役員体制が決まりました。

日本福祉文化学会 会長 河東田博(立教大学)

理事体制が大きく変わった。副会長1人を新しくし、19人の理事のうち前執行部から継続した理事は5人だけとなり、14人が新理事となった。また、評議員からの理事就任辞退が多数あったため、5人が理事会推薦理事となった。このように理事体制は大きく変わったが、この布陣で、この3年間、「福祉文化」を広く深く育て上げるために、参加し続けてくれる会員と共に、この学会に参加してよかったですと思われる学会作りへの努力をしていきたいと思う。そ

のためには、まず、新執行部の役割と目指すべき方向をはっきりさせる必要がある。それは、(1)日本福祉文化学会の21年間の成果と問題点の総点検を行うこと、(2)実践力・研究力の向上、実践と研究の融合の検討を行うこと、(3)震災支援方針を継続し、方針の具体化に向けた研究と実践を行うこと、(4)学会の将来構想を明確にし、学会活性化に向けた動きを作り出すこと(ex.評議員会・理事会機能の見直し、会員拡大策、規約の見直し、短期・長期的学会のあり方、事務局体制のあり方)、などである。

一番ヶ瀬前会長は、「福祉文化学会は、一番ヶ瀬個人のものではない。むしろ：個人の名前を残すより、これからは皆さん自身が、福祉文化の発展のために尽力して欲しい。私の撒いた種が、一人ひとりの会員のこれからの実践や研究に展開していくことこそ嬉しい」と表明され、「名誉会長」を辞退された。一番ヶ瀬前会長の名誉会長辞退表明に多くの理事が感銘を受け、表明内容を「重く」受け止めることで、理事会での確認がなされた。私たちは一番ヶ瀬前会長が播いた種をこれからの実践や研究に活かし深めていくとともに、新執行部の役割と目指すべき方向を明確にしながら皆さんと共に歩んでいきたいと思っ

新役員一覧

会長	河東田博(立教大学)	理事	遠藤美貴(立教女学院短期大学)
副会長	石田易司(桃山学院大学)	理事	安倍大輔(埼玉純真短期大学)
副会長	島田治子(日白大学)	理事	木村たき子(日本こども家庭総合研究所)
理事	越前谷賢一(美唄市社会福祉協議会)	理事	渡邊 豊(新潟県社会福祉協議会)
理事	大澤澄男(郡山女子大学)	評議員	沈 潔(日本女子大学)
理事	石井パークマン(福井大学)	評議員	厚美 薫(日本福祉教育専門学校)
理事	梅津由子(聖学院大学)	評議員	天野 勤(聖徳大学)
理事	平田 厚(静岡福祉文化実践研究所)	評議員	池 良弘(日本福祉医療専門学校)
理事	岡村ヒロ子(つどい場「私空間」)	評議員	浮田千枝子(群馬松嶺福祉短期大学)
理事	和泉とみ代(吉備国際大学)	評議員	加登田恵子(山口県立大学)
理事	川田美由紀(徳島文理大学)	評議員	小沼 肇(小田原女子短期大学)
理事	雨宮洋子(総合ケアセンター「泰生の里」)	評議員	佐々木隆夫(徳島文理大学)
理事	馬場 清(認定NPO法人日本グッド・トイ委員会)	監事	齋藤孝夫(滋川市社会福祉協議会)
理事	國光登志子(立正大学大学院)	監事	前嶋 元(脳力開発研究所工シジョン)
理事	多田千尋(芸術教育研究所)	顧問	園田碩哉(実践女子短期大学)
理事	マーレー寛子(小羊会デイスサービスセンターむべの里)	理事・事務局次長	磯部幸子
理事	稲田泰紀(燕市社会福祉協議会)	事務局次長	阿比留久美(早稲田大学)

日本福祉文化学会 仙台大会報告

副会長 石田 易司さん(桃山学院大学)

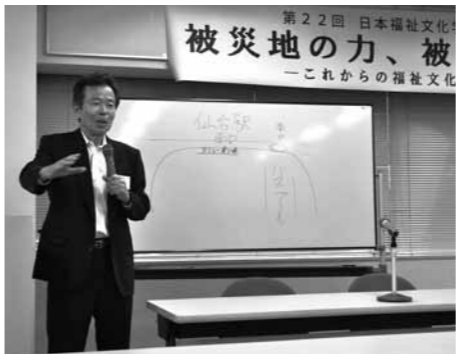
みなさんのご協力で

「今年の学会大会は仙台でやらなければ」。3月18日、緊急物資を運ぶバンの荷台で、寒さに震え、寝袋にくるまりながら、そう強く思いました。この大変さをみんなで一緒に実感したかったのです。そうして、会員の参加者をはじめ、たくさんの方々にご迷惑をかけながら、9月17日、18日の仙台での学会大会が実現しました。

内容は、いつものパターンを少し崩した形になって、継続したプログラムを計画していただいていた企画委員の方に失礼なことをしましたが、「被災地の力、被災地への力」これからの福祉文化を構築する」をテーマに、基調講演、シンポジウム、研究・実践発表、懇親会と3グループの被災地交流プログラムで、2日間を無事に終えることができました。

大阪で実施していたら貰うことのできた約30万円の大学からの助成金のない中、お金のことが何より心配でした。いろんなところを削りに削ってのひやひやの実施。特に懇親会の会場と食事や飲み物を提供していただいた食堂のオーナーは、わざわざ被災地で大会を開いた私たちの心意気に感謝してと、普段3500円の内容を3000円で提供してくださいました。さらに、その夜、応援に行く予定だったベガルタ仙台のサッカー

大阪で実施していたら貰うことのできた約30万円の大学からの助成金のない中、お金のことが何より心配でした。いろんなところを削りに削ってのひやひやの実施。特に懇親会の会場と食事や飲み物を提供していただいた食堂のオーナーは、わざわざ被災地で大会を開いた私たちの心意気に感謝してと、普段3500円の内容を3000円で提供してくださいました。さらに、その夜、応援に行く予定だったベガルタ仙台のサッカー



80歳でますますお元気な岡村栄一さんの基調講演の様子。

「アクティビティ・ケア 実践フォーラム」 報告

日本福祉文化学会事務局
高山陽子さん

2011年10月29日(土)、30日(日)、立教大学を会場に、第2回「アクティビティ・ケア実践フォーラム」が開催されました。今回は、日本福祉文化学会と高齢者アクティビティ開発センターが共催し、研究者と実践者の交流により、福祉文化活動の向上を目指した企画に、200名を超える方々にお集まりいただきました。

1日目には、河東田博会長が「震災と福祉文化」をテーマに、被災地における福祉と文化の創造について講演され、「アクティビティ・ケア活動実践報告」では、マレー・寛子理事が、「デイサービス利用者の自己決定と楽しさの関係」をテーマに、高齢者が楽しさの体験をするための重要な要素の考察、毛利ユカ氏が「高齢者の生活に密着した園芸療法」をテーマに、高齢者の主体的な気持ちを引き出す活動方法を報告されました。

2日目の「アクティビティ・ケア見本市」では、オリジナルのアクティビティを分科会形式で紹介。島田治子副会長の「元気で長生き」「笑い」の効用を再発見、「マレー・寛子理事の「ユニット・レク」楽しむ力を引き出す講座活動」などを通して、理論やモデルがアクティビティの方向性を探る手掛かりになることを示したことは、実践者がこれからの活動を考える上で大きなヒントとなりました。

パネルディスカッションでは、「震災後のアクティビティ・ケアの重要性とこれから」をテーマに、小池和幸氏、渡邊豊理事からの被災事例、馬場清理事、多田千尋理事の支援活動報告から「出番作り」「つながり」というキーワードが導かれ、被災時のみならず、常時のつながり、関係づくりが非常に大切であることが再認識され、全体を



懇親会で行われた福祉文化実践学会賞の授賞式。石田副会長から東京おもちゃ美術館館長 多田千尋さんに賞状が渡された。

の試合をキャンセルしての場所の提供です。こんな福祉文化学会の応援団もおられたのです。普通だったら、苦情の一つも出そうな狭い会場で、つめつめの懇親会でしたが、かえってそれがメンバー同士の親しみを増すことになって、よかったかなと思えました。

中でも庄巻は、学会の災害支援活動に大きな支援をしてくださったオペラ歌手村山岳さんの歌声。音楽という文化が私たちの心をさらに高めてくれる瞬間を実感しました。「いろんな苦勞をしたけれど、今までと違う心温まる大会ができたね」というのが、関西プロックの反省会での声。いい仲間たちのおかげと、実行委員長として、みなさんに深く感謝します。



通して、今後のアクティビティ・ケアの指針となる学びの多い2日間となりました。

理事会のお知らせ

2012年3月に第3回の理事会を開催いたします。今からご予約ください。

1. 期日 2012年3月17日(土)
2. 会場 立教大学池袋校舎 第12館
3. 日程 10:00~11:00 三役会
11:00~12:45 ブロック

日本福祉文化学会

岡山大会の「ご案内」

テーマ「倉敷と福祉文化」

「街と福祉のハーモニー」

第23回全国大会を古き伝統と新しい息吹が交差する町「倉敷」で開催します。

追って詳細をご案内いたしますので、お繰り合わせの上ご参加くださるようご案内申し上げます。

日時：平成24年9月29日(土)～30日(日)

場所：岡山県倉敷市 倉敷芸文館

内容：○基調講演 菅波 茂さん(AMDA代表)

○分科会 ①理論と実践の融合

②地域文化の福祉的活動

③災害支援と福祉文化

④音楽のチカラ

○シンポジウム コーディネータ

横田賢一さん(山陽新聞 編集局次長) ほか

○研究発表

○懇親会(会場 倉敷アイビースクエア)

第3回「福祉文化実践例の募集」

本学会は、研究だけを重視するのではなく、研究と現場(実践)の融合を図り、相互に高めあう関係を目指しております。

一人ひとりの生活スタイルを尊重し、地域での暮らしを大事にすることが、真

り3実践を選出します。過去2回の大会で発表された実践例以外は再応募も可能ですので、ふるってご応募ください。

●応募要件

(下記の3条件を同時に満たしていること)

1. 地域特有の文化を生かした福祉の実践例であること。(歌や踊り、民芸、食べ物、行事、風習など、その地域独特のものを使って行われている福祉的要素がある活動なら全て該当します)
2. その実践が3年以上続いていること
3. 2012年9月29日の岡山大会で20分程度の発表が出来ること(旅費は学会で負担いたします)

●応募要領

以下の資料をつけて応募してください。

- ・実践例を具体的に記した文章(上記1、2の条件が分かるように)
- ・実践が分かる写真2~3枚

●応募締切

平成24年5月31日必着

●応募・問い合わせ先

住所：〒165-0026

東京都中野区新井

2-12-10

芸術教育研究所内

日本福祉文化学会事務局

担当：高山(たかやま)

大隅(おおすみ)

TEL/FAX：03-5942-8510

Eメール：fukushibun@nifty.com

tukushibun@nifty.com

当日ご持参の場合は、30部をご用意ください。

②お弁当は各自ご用意ください。

③中国・四国ブロック理事におかれましては、岡山大会の概要を

理事会にご提示いただけるよう

ご用意ください。

事務局にお送りください。